



地域文化の伝承と活性化など幅広い活動を行うむらくも座の公演。出雲の伝統文化を全国に情報発信しています(『出雲地歌舞伎復活交流大会』10月9日うらら館)

神話の夢

21世紀出雲神話観光大国の建設

欠かせない市民の役割
観光の活性化は、経済・社会・教育・文化・福祉などの持続的な発展につながります。ひいては、市民生活を豊かにすることができると考えられます。
市では、観光地づくりや芸術文化・スポーツなどの大型イベント開催などによる誘客に努めています。
また、「神話の夢舞台 出雲」をキャッチフレーズに市内外への積極的なPRや、各種大会・会議の市内開催を援助する「コ

大社門前町にぎわい復活を
出雲観光のシンボル「出雲大社」には、年間200万人を超える参拝客があるものの、宿泊客は少なく、通過型の観光地となっています。
平成19年春に開館予定の県立古代出雲歴史博物館や、「縁広場に湧き出した温泉の活用、出雲阿国座の創設などによる大社門前町の再生が求められています。

そこで、これらの調査検討を行う「21世紀大社門前町開発調査検討会議(小川峰夫座長、渡部良治副座長、委員22人)」を8月19日に設置しました。
この中には、門前町再生整備検討部会と出雲阿国座創設検討部会を置き、具体的な整備方法などを検討していくことにしています。
来年2月には、最終案を取りまとめる予定です。

出雲阿国座って？

世界に誇る日本の伝統芸能「歌舞伎」。この創始者『出雲阿国』の生誕地として、歌舞伎をはじめとする伝統芸能の継承と、交流の拡大が求められています。
現在、その中核施設として、また、観光振興の拠点ともなる芝居小屋「出雲阿国座(仮称)」の創設を検討しています。

コンベンション開催補助金

開催規模や宿泊人数に応じて、補助金を交付します。今年度30大会で利用され、総額835万円を補助しています(9月末現在)

会場、
宿泊施設、交通手段
の紹介

郷土芸能など
アトラクション
の紹介

詳しくは、コンベンションビューロー事務局(市観光政策課)へおたずねください。

ご利用ください コンベンション開催支援

コンベンション(集会や大会などの催し)が市内で開催されると、参加者の宿泊、食事、観光など大きな経済効果が得られます。そこで、市では、平成15年に『出雲市コンベンションビューロー』を設立。次のような支援を行い誘致を図っています。

舞台 出雲の創造

促進条例を制定

IZUMO

条例制定の目的

市では、「日本の心のふるさと」出雲が、その美しい自然資源と歴史文化資源を生かした「21世紀出雲神話観光大国」として、さらに発展することを目指しています。
そこで、観光振興の基本方針

文化遺産や、歴史文化資源、美しい自然など、多くの観光資源に恵まれた出雲市。これらを整備・活用することで、広く観光客を迎え入れ、交流人口1千万人を目指しています。
今回は、9月に制定した『21世紀出雲神話観光大国の建設促進条例』と、出雲観光のシンボルともいえる出雲大社の門前町の整備、活性化のための動きについてお知らせします。



特産品を味わうのも観光の楽しみのひとつ。今年も出雲全国そばまつりを10月28日から3日間、出雲文化伝承館を会場に開催します(写真は昨年の様子)

や市民、観光関係団体などが、何をすべきか、それぞれの役割・活動の方向性を明確にするため、この条例を9月定例会市議会に提案、可決されました。
今後は、8つの基本方針(下表)に沿って、さまざまな事業を実施していくことにしています。

8つの基本方針

- (1) 観光地づくり
豊かな自然の保護と活用による水と森の空間整備。美しい景観の保全および生活環境の美化促進
- (2) 出雲の顔づくり
古代出雲文化遺産や伝統芸術・文化の保護・継承・創造を図るとともに積極的な利活用
- (3) 交流人口の1千万人の達成
文化・芸術・スポーツ・科学の振興を図り、各種イベントの開催、コンベンションの誘致などによる積極的な誘客
- (4) 地産地消の拡大
特産品開発、生産、流通の促進と地場産業の強化
- (5) 観光ネットワークの定着・発展
交通基盤、観光施設などの整備促進
- (6) 観光情報の発信・観光客誘致を促進
全国各地、世界に向けた出雲の国ブランドの開発・確立に努め、観光大使などによる官民一体となったアピール
- (7) 快適なサービスの提供
観光ボランティアの育成やサービス体制の確保・充実を図り、人にやさしい観光地づくり・おもてなしの心の醸成に努める
- (8) 出雲への理解と愛着の高揚
学校教育や生涯学習において、出雲古来の歴史文化、神話などの学習・教育活動の充実を図る